

様式1(主な取組)

活動指標名	内閣府青年国際交流事業への県内青年派遣				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	—	—	—	—	0	—	0.0%	0	未着手	活動概要 新型コロナウイルス感染症の影響で事業中止となった。
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果 新型コロナウイルス感染症の影響で事業中止となった。
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和3年度の取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> 引き続き沖縄県青年国際交流機構と連携を図り、可能な形で事業報告会やパネル展など事業周知の取組を実施し、認知度を高める。 内閣府との連携を強化し、事業の安全・円滑な実施に向けて取り組む。 						<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響で、沖縄県青年国際交流機構の活動も低調になっており、事業周知等に取り組むのが困難だった。 内閣府との連携を強化し、事業の安全・円滑な実施に向けて取り組む。 				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

- ・例年応募者が少ないため、事業の認知度を高める必要がある。

○外部環境の変化

- ・新型コロナウイルスの感染拡大が事業の執行に影響を与えている(R2、R3は事業中止)

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・県内青年の事業認知度を高めるため、広報活動の強化を図る。
- ・主催者である内閣府との情報共有を密にする必要がある。

4 取組の改善案 (Action)

- ・引き続き沖縄県青年国際交流機構と連携を図り、可能な形で事業報告会やパネル展など事業周知の取組を実施し、認知度を高める。
- ・内閣府との連携を強化し、事業の安全・円滑な実施に向けて取り組む。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	4-(1)-ア	国際ネットワークの形成と多様な交流の推進	施策	② 観光交流、経済交流等の推進
			施策の小項目名	○学術・文化・地域間交流等の推進
主な取組	沖縄戦の記憶継承			
対応する主な課題	③歴史的・地理的特性により培われた沖縄の発展可能性は、諸外国・地域との交流と連携を深めながらともに発展していくという取組の中で特に発揮されるものであり、観光・学術・文化・経済など様々な分野における国際交流や地域間交流を強化し、交流の架け橋となる人材の育成や人的ネットワークの構築等により交流基盤としてのウチナーネットワークを強化・拡充することが必要不可欠である。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
対馬丸事件等の沖縄戦の歴史的教訓を次世代に継承するとともに、事業参加者の交流を図る。						
実施主体	県	対馬丸事件等の沖縄戦の歴史的教訓を次世代に継承していくための取組				
担当部課【連絡先】	子ども生活福祉部女性力・平和推進課 【098-866-2500】					

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名							R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画
主な財源	実施方法	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算額	R2年度決算額	R3年度決算見込額	当初予算額	主な財源	
県単等	委託	—	4,384	4,404	0	547	4,622	県単等	OR3年度： 小中学生の平和交流を鹿児島県大島郡宇検村にて実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染感染拡大防止の観点から事業の施行を中止した。 OR4年度： 鹿児島県大島郡宇検村と連携し小中学生を対象とした平和学習交流事業を同村にて実施する。
予算事業名							R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画
主な財源	実施方法	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算額	R2年度決算額	R3年度決算見込額	当初予算額	主な財源	
									OR3年度： OR4年度：

様式1(主な取組)

活動指標名	参加人数				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	-	30	30	-	30	0	0.0%	547	未着手	<p>活動概要</p> <p>沖縄県内の小中学生及びその親（合計で30名）が対馬丸事件の生存者や犠牲者が流れ着いた鹿児島県大島郡宇検村を訪れ、対馬丸事件を学ぶと共に、同村の小中学生と交流する計画であったが、新型コロナウイルス感染感染拡大防止の観点から事業の執行を中止した。</p> <p>進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果</p> <p>参加人数の計画値30名に対し、実績値0名で進捗状況は未着手となった。 要因は新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の中止したことによる。</p>
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和3年度 of 取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> オンライン交流の可能性を模索する。 						<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染感染拡大防止の観点から、事業の執行を中止した。 				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、参加者や職員の県外への渡航・往来に制限が生じた。
- ・途中、沖縄県内での研修に転換も行ったが、感染症拡大防止の観点より中止の判断となった。

○外部環境の変化

- ・新型コロナウイルス感染症が猛威振るい、緊急事態宣言などが発出されるなど県外への渡航・往来及び県内での移動・交流に制限が生じた。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・オンライン交流等の可能性を模索する。

4 取組の改善案 (Action)

- ・新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、オンライン交流等の可能性を模索する。